

報道関係者 各位

2025 年 6 月 13 日

株式会社フジタ

代表取締役社長 奥村洋治

2025 年 VE 発表会を開催

大和ハウスグループの株式会社フジタ（本社：東京都渋谷区、社長：奥村洋治）は、5 月 30 日に「2025 年 VE（バリュー・エンジニアリング）発表会」を都内の会場およびウェブ会議システムを活用し、開催しました。

1. 概 要

日 時：2025 年 5 月 30 日（金）

発表数：27 編

参加者：800 名（フジタ本社および支店、事業部、関係会社）

2. 開催の趣旨

発表会はフジタ、関係会社から優れた VE 実施事例を報告することにより、相互の情報交換を通じて VE 技術の向上と VE 活動の啓もう、および発展を図ることを目的に毎年開催しています。

3. 発表内容

冒頭、平野徹取締役専務執行役員安全本部長（日本バリュー・エンジニアリング協会常任理事）よりあいさつがありました。続く事例発表では、本社および支店、事業部、関係会社から VE の取り組みとして 2024 年度に報告された VE 事例 472 件の中から、建築、設計、管理、営業、設備、土木の 6 部門 25 編、ならびに関係会社より 2 編が発表されました。発表内容は施工の省力化・合理化、機能向上、コスト削減に関する取り組みなど多岐にわたりました。表彰式では、最も評価が高かった発表を社長賞として選出したほか、最優秀賞、優秀賞、環境部門賞、特別賞の各賞が発表され、組田良則上席執行役員品質・環境本部長（VE 推進委員長）から表彰状が手渡されました。

平野徹取締役専務執行役員安全本部長（日本バリュー・エンジニアリング協会常任理事）あいさつ要旨

日本が VE の考え方を取り入れたのは、日本バリュー・エンジニアリング協会が設立したちょうど 60 年前になります。当社はそれから 2 年後に取り組みを開始し、建設業では VE のトップリーダーとしてあゆんできました。

そうした中、数年前まで VE は、どちらかと言えばコスト削減という点に力を入れてきましたが、近年では世界情勢が激動し、日本では少子高齢化による人口減少が進み、環境が大きく変化する中、建設業界に目を向けると昨年、時間外労働の上限規制がスタートしたほか、SDG s や DX、GX などの取り組みについても重要視されるようになってきました。そうした背景もあり、VE に求められる価値も大きく変化しつつあり、求められるものに対し、VE の観点から考えていくことで、さまざまな答えも出てくると思っています。そして、最終的にはお客さまの喜びにつながり、さらに社会に貢献できればと考えています。

最後に、本日は多くの方が発表されますが、元気に発表してもらうとともに、聞いている皆さんもさまざまな考えを巡らしてもらうことをお願いし、私のあいさつとさせていただきます。

4. 審査結果

審査の結果、優秀事例は以下の通りです。

■社 内

社 長 賞：設計部門「マテハン運用を組み込んだ建屋規模縮小による総合提案VE」
※最優秀賞、環境部門賞同時受賞

最 優 秀 賞：建築部門「FSRPC 構法での建て逃げ工法実施における取り組み」
：土木部門「橋台土留めの見直し」

■関係会社

最 優 秀 賞：株式会社テクノマテリアル「RPA 連携による調達業務の効率化」



組田VE推進委員長（左）から受賞者に表彰状が手渡された。

【お問い合わせ先】

株式会社フジタ

〒151-8570 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2

広報室

TEL 03-3402-1911